

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	進行大腸癌症例での治療成績
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：神田 享勉
研究責任者	金沢医科大学一般・消化器外科学 橋本 明史
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2025年 12月
対象者	2009年1月から2022年6月までの間に金沢医科大学病院一般・消化器外科で加療した進行大腸癌患者さん1080名です
当該研究の意義・目的	進行大腸癌治療は近年めざましく進歩しており進行度や腫瘍の局在、腸閉塞の有無、遺伝子変異など多彩なパラメータを考慮して個々の症例に応じた治療が必要です。新規薬剤の登場などこの分野の治療法の進歩はめざましく、適切な治療の選択のためにも過去の治療成績の検討が必要です。当院での進行大腸癌症例での治療成績を後方視的に検討し、治療成績を明らかにすることで今後の治療方針選択の一助となる情報を得ることができます。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は2009年1月から2022年6月までに当科で手術加療を行った進行大腸癌患者1080名を対象とし、術後の治療成績と予後を評価するために診療録から、年齢、性別、合併症、ステージ、検査データ（採血、遺伝子変異検査、CT、PET-CT、上下部内視鏡検査など）、手術記録、術後病理結果などを後方視的に情報収集し、統計解析はJMPver.14を用いて、全生存期間、疾患特異的生存期間、ステージ別生存期間などについて検討します。 研究データは学内規程に則り保管された後、復元できないような形で廃棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。 また、この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことでああなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 一般・消化器外科学 橋本 明史 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1

	☎ : (代表) 076-286-3511 内線
--	--------------------------

作成日 : 2022年08月05日